

少年の問題行動を防ぐために

命の大切さを教える

最近の子どもは、テレビなどの影響で命を大切に思う心が薄れてきています。動植物にふれあうことで命の大切さを学ばせましょう。

子どもの個性を大切にしよう

成績にこだわるのをやめる

学校の成績について、順位や偏差値にとらわれず、個性を尊重しましょう。

よいところをほめて伸ばす

子どもの長所や個性を伸ばすには、親がそれを見出し、上手にほめることが大切です。

将来の夢と希望を聞く

生き方や社会について子どもと話し合ったり、子どもの夢や将来に耳を傾け、励ましたりすることが大切です。



家庭で守るべきルールをつくらう

生活の決まりやルールをつくる

家庭のルールを守ることを通じて社会のルールを守ることの大切さを学びます。家庭でルールを守ることの大切さを教えましょう。

幼児期から家事を担わせる



家事を手伝う習慣が身につくと、責任感や自立心を育むうえで大きな効果があります。

あいさつをきちんとさせる



「おはよう」など基本的なあいさつができるようにすることが大

切です。最低の礼儀を身につけるよう親自身が模範を示しましょう。
物を買ういえ過ぎない

物を買ういえ過ぎると努力や我慢することを忘れてしまい、欲求を制御する力を失ってしまいます。

テレビを見る時間やゲームをする時間を決める

時間を守ることを覚えます。また、過度に見すぎると、人間関係の希薄化、体験不足を招くとともに、仮想と現実を混同してしまう恐れがあります。

遊びの重要性を再認識しよう

遊びの時間を大切に

幼児期から小学生までの間は、友達との遊びには大きな意義があります。友達と一緒にのびのびと遊ぶ時間を尊重しましょう。

偏った早期教育を考え直す

最近はいち早くから学習塾に通わせることも少なくありません。その分、遊びや体験学習の機会が減ることになり、心の成長をゆがめてしまうことになります。

自然の中で遊ばせる

自然の中で遊ぶ機会が少なくなっています。野外に連れ出し、その楽しさに気付かせましょう。



生活にゆとりを与える

子どもはゆとりのある自由な時間を与えられると、心から遊びを楽しむ、遊び方を創意工夫するなど、のびのびと個性や創造性を伸ばすことができます。

※この記事は、社団法人日本広報協会発行の「子どもの心に向き合う心」を参考にしました。

子どもたちを非行に向かわせないため、親をはじめとする大人がどのように子どもと向き合うべきかを中心に構成されたビデオが総務課にあります。貸し出しを希望される場合は、広報広聴係（☎49-3111・内線258）までご連絡ください。